

令和6年度 2学期学校評価

伊予市立山中中学校 令和6年12月アンケート実施

【評定の基準】  
 A 目標を達成  
 B おおむね達成  
 C あまり達成できていない  
 ※ 各評価資料の結果をもとに総合的に判断する。

【アンケートの評価基準】  
 ◎ 8割以上が肯定 ○ 6割以上が肯定 △ 6割未満が肯定  
 【アンケート】  
 1 よくできている 2 大体できている 3 あまりできていない 4 できていない 5 わからない

項目	小項目 (重点目標)	評価指標及び目標値	評定	学校による考察・改善方策	評価資料	アンケート結果(%)					1,2の割合 (%)	評価	平均	1学期	昨年度 比較
						1	2	3	4	5					
教育課程と学習指導	教育課程の編成と実施	年間指導計画を定期的にチェックし、授業時数の確保と学習指導要領の内容の完全実施に努めている。 目標値：学校教育法に示された授業時数を100%達成	A	・調整しながらカリキュラムを組んでいき、教科の時数は昨年度とほぼ同じくらい確保できた。しかし、10, 11月に行事が連続して入ったため、授業の間隔が開いてしまったり、12月に集中して入ったりすることになった。年度末までの予定を計画的に立て、授業時数の確保と学習指導要領の内容の完全実施を達成していく。	時数集計票										
					*別紙にて報告										
	確かな学力の定着と向上	授業を改善し、わかる授業、興味をもてる授業を展開している。 目標値：教職員、生徒の80%以上が肯定	A	・引き続きわかる授業の実践に努め、授業内でわからないという生徒に個別に配慮する。 ・学年末なので授業に余裕がある場合には、単元末、学年末テスト前や学年末の授業で、復習の時間をとり、個別に対応する。	教職員アンケート①	0.0	100.0	0.0	0.0	0	100	◎	93	97	-3
					生徒アンケート①	40.7	44.4	11.1	3.7	0	85.1	◎			
		朝ドリル・補充学習・個人指導を充実させ、一人ひとりに応じたきめ細かな学習指導がなされている。 目標値：教職員、保護者、生徒の80%以上が肯定	A	・月2回程度、希望者対象の学習相談を3学期も継続する。	教職員アンケート②	37.5	62.5	0.0	0.0	0	100	◎	89	93	0
					保護者アンケート①	25.9	51.9	7.4	0.0	14.8	77.8	○			
	適切な量や内容の宿題が与えられている。 目標値：1年90分以上、2年120分以上、3年150分以上	C	・学習相談日を毎月第4週に2日程度設ける。原則、部活動実施日の放課後に行う。 ・テスト期間に、タブレット(eライブラリ)で全教科課題を出し、家庭でできるようにする。 ・授業で生徒の興味を引き出し、生徒がやりたくなるような宿題を出す工夫をする。	教職員アンケート③	0.0	18.2	63.6	18.2	0	18.2	△	41	43	-3	
				生徒アンケート③	14.8	48.1	25.9	11.1	0	62.9	△				
				家庭学習時間	4時間以上	3~4時間	2~3時間	1~2時間	0.5~1時間	0.5時間未満					
				1学期	0.0	3.4	13.8	58.6	13.8	10.3					
適切な量や内容の宿題が与えられている。 目標値：生徒の80%以上が肯定	A	・引き続き、適切な量の宿題を出すようにする。	生徒アンケート④	11.1	88.9	0.0			88.9	◎	89	83	25		
学校関係者評価委員の所見					学校の対応	生徒が「分かる」「楽しい」と感じる授業展開を目指しており、授業改善を全教職員で取り組んでいる。また、学習相談を定期的に行い、一人ひとりに応じたきめ細かな学習指導を更に行うことができた。 家庭学習の定着に向けては、適切な質と量の課題を出したり、学習アプリを活用するなど、様々な方法で学習の仕方を提示していきたい。また、家庭との連携を密にしながら、生徒理解の研修会を実施し、生徒が自ら律しながら学習に取り組むよう家庭とともに指導していきたい。									
生き方を考える教育	心の教育の推進	道徳の時間の指導が充実し、道徳的な実践力が育っている。 目標値：教職員、生徒の80%以上が肯定	A	・3学期は相互参観等を実施し、道徳科の指導の充実に努める。 ・全教職員が多様な指導方法について研修を深め、共有する。	教職員アンケート⑧	54.5	45.5	0.0	0.0	0	100	◎	98	92	3
					生徒アンケート⑨	70.4	25.9	0.0	0.0	3.7	96.3	◎			
	進路指導	正しい勤労観・職業観等、将来の生き方や進路の適切な選択に向けて、機会をとらえて働きかけている。 目標値：教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	・3学期は学級NETの時間に、1年生は職業しらべ、2年生は高校しらべを実施し、しらべ学習の中でキャリア教育や進路学習を行う。	教職員アンケート④	27.3	72.3	0.0	0.0	0	99.6	◎	86	98	-3
					保護者アンケート③	14.8	55.6	7.4	3.7	18.5	70.4	○			
					生徒アンケート⑤	55.6	33.3	7.4	0.0	3.7	88.9	◎			
	集団づくり	学級にはまとまりがあり、一人ひとりを支えあう雰囲気がつくりだされている。 目標値：教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	・学級通信やHP等を通じて、学級の様子や雰囲気を積極的に家庭に発信する。	教職員アンケート⑤	18.2	81.8	0.0	0.0	0	100	◎	89	86	6
保護者アンケート④					18.5	55.6	14.8	11.1	0	74.1	○				
生徒アンケート⑥					81.5	11.1	3.7	3.7	0	92.6	◎				
学校関係者評価委員の所見					学校の対応	港南中学校の人権フェスタや、人権・同和教育参観日の人権劇に関する取組を通して、生徒達は、「表現することに対する意識が向上し、多方面で自分の思いを伝える場面が増えた。 進路指導については、1年生で職業調べ、2年生の職場体験活動、3年生で進路選択など、各学年の発達段階に応じた取組や指導を行った。今後は、多様な職業や進路の情報を提示し、生徒が興味深く取り組めるように努めたい。									



教職員の 資質向上	教職員の 資質向上	きもちのよいあいさつができて いる。 目標値：教職員の80%以上が肯定	A	・教職員間、対生徒、対地域の方や来客等、日頃からお互いに気持ちのよいあいさつを心掛け、温かい雰囲気づくりに努める。	教職員アンケート⑱	72.7	27.3	0.0	0.0	0	100	◎	100	92	6.7			
		来校者に対して、適切な対応を 心がけている。 目標値：教職員の80%以上が肯定	A	・今後も、迅速に丁寧な対応を心掛ける。	教職員アンケート⑲	63.6	36.4	0.0	0.0	0	100	◎				100	100	0
		健全な社会人として信頼にたる 教職員となっている。 目標値：教職員、生徒、保護者の 80%以上が肯定	A	・生徒の肯定率が下がった。これは、十分に自分の思いを聞いてもらえていないと感じている生徒がいるからかもしれない。教職員は生徒理解に努めているが、より一層の積極的な声掛けや教育相談など、じっくりと生徒と関わる時間を創出しなければならない。 ・スクールカウンセラー、教育相談員等の外部有識者にも関わっていただき、よりよい信頼関係を構築していく。	教職員アンケート⑮	54.5	36.4	9.1	0.0	0	90.9	◎						
生徒アンケート⑮	40.7	37.0	14.8	0.0	7.4	77.7	○											
開かれた 学校づくり	保護者・地域 との連携	学校の様子や、行事などについて 家庭で話をしている。 目標値：生徒の80%以上が肯定	A	・学級通信やHP、学校便り等の内容の充実に努め、家庭での話題となるように工夫する。	生徒アンケート⑰	51.9	33.3	0.0	11.1	3.7	85.2	◎	85	79	-8			
		学校の様子や行事などが、学校 だよりなどでよく知らされている。 目標値：保護者の80%以上が肯定	A	・肯定率が3.8%下がってはいるが、「もっと知りたい」という保護者の関心の高さを表している。今後も、機会を捉えて情報を発信していくことを継続したい。	保護者アンケート⑫	48.1	48.1	3.7	0.0	0.0	96.2	◎				96	100	11
		学校、PTA、地域はよく協力 して活動している。 目標値：教職員、保護者の80% 以上が肯定	A	・PTA活動や学校行事等で、学校とPTA、地域が連携しており、スムーズに運営できている。今後も学校からの情報を発信し、協力しやすい環境を整えていきたい。	教職員アンケート⑳	54.5	36.4	9.1	0.0	0.0	90.9	◎						
	保護者アンケート⑭	14.8	70.4	11.1	0.0	3.7	85.2	◎										
	学校関係者評価委員の所見		○地域の行事等も減少して、中学生と接する機会も減ってきている。学校でもそのような機会を設定していただくと地域としてもありがたい。		学校の対応	学校行事や部活動、日々の生活の様子などを発信するだけでなく、広報誌と共に、学校だよりを地域の方々に配付することも実施したい。 PTA活動については、保護者の方に積極的に参加していただいております。今後も、学校、保護者、地域が連携し、生徒の健全育成に向け教育活動の充実に努めていきたい。												